

対象校No.
注4

学校コード F144110111418
注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 学部の学科の設置
注1

意見伺い

注2
大分大学 医学部 先進医療科学科 (必要がある場合) ○○専攻

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

国立大学法人大分大学
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	総務部企画課企画係
職名・氏名	シヨエン オカマ シュヅケ 主任・中間 峻介
電話番号	097-554-7407 (内線: 7407)
(夜間)	097-554-7407 (内線: 7407)
e-mail	kikaku@oita-u.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「○○大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) ○○大学 △△学部 □□学科
(旧名称: ◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合: 「○○大学」
・学部の設置の場合: 「○○大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合: 「○○大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合: 「○○短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合: 「○○大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合: 「○○大学大学院 ○○研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合: 「○○大学大学院 ○○研究科 ○○専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合: 「○○大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

医学部

＜先進医療科学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	19
4. 既設大学等の状況	20
5. 教員組織の状況	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等	42
7. その他全般的事項	43

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人大分大学

(2) 大学名 大分大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒879-5593 (〒870-1192)
大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地 (大分県大分市大字旦野原700番地)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	該当なし		
学長	(キタノ セイゴウ) 北野 正剛 (平成23年10月)		
学部長	(イノマタ マサフミ) 猪股 雅史 (令和5年4月)		
学科長等	(アナイ ヒロフミ) 穴井 博文 (令和5年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載 (昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含まれていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
医学部 先進医療科学科 学士(医療科学)	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4 年	35 人	2年次 0 人 3年次 0 人 4年次 0 人	140 人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期														
A 入学定員	人 () []	-	1.01倍	一倍												
志願者数	() []	221 []	- []	184 []	- []	-										
受験者数	() []	93 []	() []	78 []	() []	-										
合格者数	() []	43 []	() []	49 []	() []	-										
B 入学者数	() []	35 []	() []	37 []	() []	-										
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00	-	1.06	-	-			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出して記入してください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期											
1 年次	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	35 [-] ()	- [-] ()	37 [-] ()	- [-] ()				
2 年次	/		- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()	34 [-] ()	- [-] ()				
3 年次			/		/		- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	[] [] ()			
4 年次	/						/		/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
計			- [-] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()					[] [] ()	[] [] ()	35 [-] (-)

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、**留学生の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。**また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
令和4年度	人	人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
令和5年度	35 人	1 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	1 人	0 人	他の教育機関受験(1名)
令和6年度	71 人	0 人	令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	0 人	0 人	
			令和6年度	0 人	0 人	
合計		1 人		1 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{35} = \boxed{2.85} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{71} = \boxed{0} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<医学部 先進医療科学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野科目	医療科学入門	1前	2			7	3	5	1			
	早期体験実習	1前	1			1						兼1
	健康科学概論	1前	1			1						兼1
	医療倫理学Ⅰ	1前	1									兼1
	医療倫理学Ⅱ	1後	1									兼1
	心理行動科学	1前	1									兼1
	データサイエンス入門	1前	1									兼2
	健康運動科学Ⅰ	1前	1									兼1
	健康運動科学Ⅱ	1後	1									兼1
	コミュニケーション学	1後	1									兼1
	実験系研究者のための生物学	1前		2				1				
	生命科学概論	1後		2				2				
	数学Ⅰ	1前		1								兼1
	数学Ⅱ	1後		1								兼1
	物理Ⅰ	1前		1								兼1
	物理Ⅱ	1後		1								兼1
	化学Ⅰ	1前		1								兼1
	化学Ⅱ	1後		1								兼1
	生物Ⅰ	1前		1								兼1
	生物Ⅱ	1後		1								兼1
	日本の古典文学を学ぶ	1前		1								兼1
	ドイツ文学	1前		1								兼1
	音楽	1後		1								兼1
	日本近代文学	1後		1								兼1
	自己理解のための心理臨床学入門	1前		1								兼1
	大分大学入門	1前		1								兼1
	栄養学	2前		1								兼1
小計(27科目)	-		11	19	0	7	3	5	1	0		兼17
融合人材育成科目	医療英語Ⅰ	1前	1									兼1
	医療英語Ⅱ	1後	1									兼1
	医療英会話Ⅰ	2前		1								兼1
	医療英会話Ⅱ	2後		1								兼1
	グローバルコミュニケーションⅠ	1後		2								兼2
	グローバルコミュニケーションⅡ	3通		2								兼2
	ドイツ語Ⅰ	1前		1								兼1
	ドイツ語Ⅱ	1後		1								兼1
	中国語Ⅰ	1前		1								兼1
	中国語Ⅱ	1後		1								兼1
	スペイン語Ⅰ	1前		1								兼1
	スペイン語Ⅱ	1後		1								兼1
	ハンブルⅠ	1前		1								兼1
	ハンブルⅡ	1後		1								兼1
	海外研修	4後		2				1				
	海外インターンシップ	4後		2				1				
小計(16科目)	-		2	18	0	0	0	1	0	0		兼8
未来創造イノベーション・キャリア	アントレプレナーシップ	1後	2									兼2
	規格及び知財管理学	1後	1				1					兼1
	機能デザイン工学	2後		1		1						
	ベンチャー起業論	3前		1		1		1				兼1
	医療科学キャリアパス	3後		1								兼1
	レギュラトリーサイエンス	3後		1								兼2
	医工連携・技術開発論	3後		2		1						
小計(7科目)	-		7	2	0	2	1	1	0	0		兼6

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野科目	医療科学入門	1前	2			7	3	5	1			
	早期体験実習	1前	1			1						兼1
	健康科学概論	1前	1			1						兼1
	医療倫理学Ⅰ	1前	1									兼1
	医療倫理学Ⅱ	1後	1									兼1
	心理行動科学	1前	1									兼1
	データサイエンス入門	1前	1									兼2
	健康運動科学Ⅰ	1前	1									兼1
	健康運動科学Ⅱ	1後	1									兼1
	コミュニケーション学	1後	1									兼1
	実験系研究者のための生物学	1前		2				1				
	生命科学概論	1後		2				2				
	数学Ⅰ	1前		1								兼1
	数学Ⅱ	1後		1								兼1
	物理Ⅰ	1前		1								兼1
	物理Ⅱ	1後		1								兼1
	化学Ⅰ	1前		1								兼1
	化学Ⅱ	1後		1								兼1
	生物Ⅰ	1前		1								兼1
	生物Ⅱ	1後		1								兼1
	日本の古典文学を学ぶ	1前		1								兼1
	ドイツ文学	1前		1								兼1
	音楽	1後		1								兼1
	日本近代文学	1後		1								兼1
	自己理解のための心理臨床学入門	1前		1								兼1
	大分大学入門	1前		1								兼1
	栄養学(未開講)	2前		1								兼1
小計(27科目)	-		11	19	0	7	3	5	1	0		兼17
融合人材育成科目	医療英語Ⅰ	1前	1									兼1
	医療英語Ⅱ	1後	1									兼1
	医療英会話Ⅰ	2前		1								兼1
	医療英会話Ⅱ	2後		1								兼1
	グローバルコミュニケーションⅠ	1後		2								兼2
	グローバルコミュニケーションⅡ	3通		2								兼2
	ドイツ語Ⅰ	1前		1								兼1
	ドイツ語Ⅱ	1後		1								兼1
	中国語Ⅰ	1前		1								兼1
	中国語Ⅱ	1後		1								兼1
	スペイン語Ⅰ	1前		1								兼1
	スペイン語Ⅱ	1後		1								兼1
	ハンブルⅠ	1前		1								兼1
	ハンブルⅡ	1後		1								兼1
	海外研修	4後		2				1				
	海外インターンシップ	4後		2				1				
小計(16科目)	-		2	18	0	0	0	1	0	0		兼7
未来創造イノベーション・キャリア	アントレプレナーシップ	1後	2									兼2
	規格及び知財管理学	1後	1				1					兼1
	機能デザイン工学	2後		1		1						
	ベンチャー起業論	3前		1		1		1				兼1
	医療科学キャリアパス	3後		1								兼1
	レギュラトリーサイエンス	3後		1								兼2
	医工連携・技術開発論	3後		2		1						
小計(7科目)	-		7	2	0	2	1	1	0	0		兼6

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
融合人材育成科目	先進領域融合科目群	医療情報システム論	1前	1			1					兼1
		ゲノム再生医学論	2前	2			1					兼11
		グローバルヘルス・セキュリティ	2前	2								兼1
		医療データ解析・活用論	2後		1			1				兼1
		人工知能基礎	2後		2							兼1
		医療とAI	3前		2			1				兼2
		ゲノム解析学	3前		2				2			兼11
		クリニカルオンコロジー	3前		2			1				兼3
		ワンヘルスサイエンス	3後		2							兼5
		人工臓器学(運動器系)	3後		2			1				兼5
		人工臓器学(感覚器系)	3後		1							兼5
		人工臓器学(広領域)	3通		2			1	1			兼3
		医学・生命科学ビッグデータAI解析技術論	3通		2							兼35
小計(13科目)	-	7	16	0	2	2	2	0	0		兼35	
医療マネジメント科目群	医療マネジメント	関係法規	1後	1			1		1			兼1
		医療マネジメント論	1後	2			1					兼1
		地域医療政策論	2前	1								兼1
		メディカルリスクマネジメント論	2後	2								兼1
		病院マネジメント論	3前		2			1		1		兼2
		小計(5科目)	-	6	2	0	2	0	1	0	0	
専門科目	コース共通専門分野	解剖学	1前	1								兼1
		解剖学実習	1後	1			1					兼1
		看護学概説	1前		1							兼2
		生命ホメオスタシス学Ⅰ	1後	1			1					兼5
		生命ホメオスタシス学Ⅱ	1後	1								兼2
		イムノメタボリズム学Ⅰ	1後	1								兼4
		イムノメタボリズム学Ⅱ	1後	1								兼1
		組織学	1後	1								兼1
		臨床病態学(内科)	2通	2			1					兼7
		臨床病態学(外科)	2前	2			2					兼9
		臨床病態学(麻酔・救急)	2前	2								兼3
		臨床病理学Ⅰ	2前	2				1				兼2
		微生物学	2前	2								兼3
		画像診断学	2後	2								兼1
		医用工学	2後		2		1			1		兼1
		医用機器学	2後		2		2		1			兼3
		病態薬理学	3前	1								兼1
		生体計測装置学	3前		2		3	1	1	1		兼3
		臨床支援技術学	3後		2		3		1	1		兼1
		多職種連携演習	4後		1		2	1	1			兼1
小計(20科目)	-	20	10	0	5	1	3	1	0		兼43	
生命健康科学コース専門分野	生命健康科学コース専門分野	臨床検査の基礎と疾病との関連	1前	1								兼2
		生命ホメオスタシス学Ⅲ	2前	2			1	1				兼2
		イムノメタボリズム学Ⅲ	2前	2			1	1				兼6
		イムノメタボリズム学Ⅳ	2後	1								兼2
		臨床病理学Ⅱ	2後	2				1				兼2
		臨床検査学	2通	3			1	1				兼2
		微生物検査学	2後	2				1				兼1
		腫瘍血液内科学Ⅰ	2後	2								兼1
		腫瘍血液内科学Ⅱ	3後	2								兼1
		生命ホメオスタシス解析学Ⅰ	2後	2			2	1				兼3
		生命ホメオスタシス解析学Ⅱ	3前		2		2	1				兼2
		病理・細胞診断学Ⅰ	3前	2					2			兼1
		病理・細胞診断学Ⅱ	3後		2				2			兼1
		臨床検査総合管理学	3後	2								兼1
		輸血・移植検査学	3後	2								兼1
		イムノメタボリズム解析学	3通	2			1	1				兼1
		メディカルキャリアデザイン	4通		2		1	1	1			兼18
		臨地実習	4前		12		3	1	1			
小計(18科目)	-	27	18	0	3	1	2	0	0		兼17	

科目区分	授業科目の名称	記号 年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
融合人材育成科目	先進領域融合科目群	医療情報システム論	1前	1			1					兼1
		ゲノム再生医学論	2前	2			1					兼11
		グローバルヘルス・セキュリティ	2前	2								兼1
		医療データ解析・活用論	2後		1			1				兼1
		人工知能基礎	2後		2							兼1
		医療とAI	3前		2			1				兼2
		ゲノム解析学	3前		2				2			兼11
		クリニカルオンコロジー	3前		2			1				兼3
		ワンヘルスサイエンス	3後		2							兼5
		人工臓器学(運動器系)	3後		2			1				兼5
		人工臓器学(感覚器系)	3後		1							兼5
		人工臓器学(広領域)	3通		2			1	1			兼3
		医学・生命科学ビッグデータAI解析技術論	3通		2							兼36
小計(13科目)	-	7	16	0	2	2	2	0	0		兼36	
医療マネジメント科目群	医療マネジメント	関係法規	1後	1			1		1			兼1
		医療マネジメント論	1後	2			1					兼1
		地域医療政策論	2前	1								兼2
		メディカルリスクマネジメント論	2後	2								兼2
		病院マネジメント論	3前		2			1		1		兼3
小計(5科目)	-	6	2	0	2	0	1	0	0		兼3	
専門科目	コース共通専門分野	解剖学	1前	1								兼1
		解剖学実習	1後	1			1					兼1
		看護学概説	1前		1							兼2
		生命ホメオスタシス学Ⅰ	1前	1			1					兼5
		生命ホメオスタシス学Ⅱ	1後	1								兼2
		イムノメタボリズム学Ⅰ	1後	1								兼4
		イムノメタボリズム学Ⅱ	1後	1								兼1
		組織学	1後	1								兼1
		臨床病態学(内科)	2通	2			1					兼6
		臨床病態学(外科)	2前	2			2					兼9
		臨床病態学(麻酔・救急)	2前	2								兼3
		臨床病理学Ⅰ	2前	2					1			兼2
		微生物学	2後	2								兼3
		画像診断学	2後	2								兼1
		医用工学	2後		2		1			1		兼1
		医用機器学	2後		2		2		1			兼3
		病態薬理学	3前	1								兼1
		生体計測装置学	3前		2		3	1	1	1		兼3
		臨床支援技術学	3後		2		3		1	1		兼1
		多職種連携演習	4後		1		2	1	1			兼1
小計(20科目)	-	20	10	0	5	1	3	1	0		兼42	
生命健康科学コース専門分野	生命健康科学コース専門分野	臨床検査の基礎と疾病との関連	1前	1								兼3
		生命ホメオスタシス学Ⅲ	2前	2			1	1				兼2
		イムノメタボリズム学Ⅲ	2前	2			1	1				兼6
		イムノメタボリズム学Ⅳ	2後	1								兼2
		臨床病理学Ⅱ	2後	2				1				兼2
		臨床検査学	2通	3			1	1				兼2
		微生物検査学	2後	2				1				兼1
		腫瘍血液内科学Ⅰ	2後	2								兼1
		腫瘍血液内科学Ⅱ	3後	2								兼1
		生命ホメオスタシス解析学Ⅰ	2後	2			2	1				兼3
		生命ホメオスタシス解析学Ⅱ	3前		2		2	1				兼2
		病理・細胞診断学Ⅰ	3前	2					2			兼1
		病理・細胞診断学Ⅱ	3後		2				2			兼1
		臨床検査総合管理学	3後	2								兼1
		輸血・移植検査学	3後	2								兼1
		イムノメタボリズム解析学	3通	2			1	1				兼1
		メディカルキャリアデザイン	4通		2		1	1	1			兼18
		臨地実習	4前		12		3	1	1			
小計(18科目)	-	27	18	0	3	1	2	0	0		兼18	

【臨床医工学コース】

1. 基礎分野科目 20単位

- (1) 必修科目 11単位
- (2) 「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「物理Ⅰ」「物理Ⅱ」 4単位
- (3) 「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」から1単位選択必修
- (4) 「化学Ⅱ」「生物Ⅱ」から1単位選択必修
- (5) 基礎分野科目選択科目から 3単位

2. 融合人材育成科目 39単位

- (1) 国際力強化科目群 必修科目 2単位
「ドイツ語Ⅰ」「中国語Ⅰ」「スペイン語Ⅰ」「ハンガールⅠ」から1単位選択必修
「ドイツ語Ⅱ」「中国語Ⅱ」「スペイン語Ⅱ」「ハンガールⅡ」から1単位選択必修
- (2) 未来創造キャリア・デザイン科目群 必修科目 7単位
- (3) 先進領域融合科目群 必修科目 7単位
「医療データ解析・活用論」「医療とAI」 3単位
- (4) 医療マネジメント科目群 必修科目 6単位
- (5) 融合人材育成科目の選択科目から 12単位

3. 専門科目 50単位

- (1) コース共通専門分野 必修科目 20単位
「看護学概説」 1単位
- (2) 臨床医工学コース専門分野 必修科目 29単位

4. 融合人材育成科目及び専門科目の選択科目から 6単位

5. 研究科目 10単位

◆卒業要件125単位

(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

【臨床医工学コース】

1. 基礎分野科目 20単位

- (1) 必修科目 11単位
- (2) 「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「物理Ⅰ」「物理Ⅱ」 4単位
- (3) 「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」から1単位選択必修
- (4) 「化学Ⅱ」「生物Ⅱ」から1単位選択必修
- (5) 基礎分野科目選択科目から 3単位

2. 融合人材育成科目 39単位

- (1) 国際力強化科目群 必修科目 2単位
「ドイツ語Ⅰ」「中国語Ⅰ」「スペイン語Ⅰ」「ハンガールⅠ」から1単位選択必修
「ドイツ語Ⅱ」「中国語Ⅱ」「スペイン語Ⅱ」「ハンガールⅡ」から1単位選択必修
- (2) 未来創造キャリア・デザイン科目群 必修科目 7単位
- (3) 先進領域融合科目群 必修科目 7単位
「医療データ解析・活用論」「医療とAI」 3単位
- (4) 医療マネジメント科目群 必修科目 6単位
- (5) 融合人材育成科目の選択科目から 12単位

3. 専門科目 50単位

- (1) コース共通専門分野 必修科目 20単位
「看護学概説」 1単位
- (2) 臨床医工学コース専門分野 必修科目 29単位

4. 融合人材育成科目及び専門科目の選択科目から 6単位

5. 研究科目 10単位

◆卒業要件125単位

(履修科目の登録の上限:48単位(年間))

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎分野科目	医療科学入門	1前	2			7	3	5	1			
	早期体験実習	1前	1			1						
	健康科学概論	1前	1			1					兼1	
	医療倫理学Ⅰ	1前	1								兼1	
	医療倫理学Ⅱ	1後	1								兼1	
	心理行動科学	1前	1								兼1	
	データサイエンス入門	1前	1								兼2	
	健康運動科学Ⅰ	1前	1								兼1	
	健康運動科学Ⅱ	1後	1								兼1	
	コミュニケーション学	1後	1								兼1	
	実験系研究者のための生物学	1前		2					1			
	生命科学研究概論	1後		2					2			
	数学Ⅰ	1前		1							兼1	
	数学Ⅱ	1後		1							兼1	
	物理Ⅰ	1前		1							兼1	
	物理Ⅱ	1後		1							兼1	
	化学Ⅰ	1前		1							兼1	
	化学Ⅱ	1後		1							兼1	
	生物Ⅰ	1前		1							兼1	
	生物Ⅱ	1後		1							兼1	
	日本の古典文学を学ぶ	1前		1							兼1	
	ドイツ文学	1前		1							兼1	
	音楽	1後		1							兼1	
	日本近代文学	1後		1							兼1	
	自己理解のための心理臨床学入門	1前		1							兼1	
	大分大学入門	1前		1							兼1	
	栄養学	2前		1							兼1	
小計(27科目)	-		11	19	0	7	3	5	1	0	兼17	
融合人材育成科目	国際力強化科目群	医療英語Ⅰ	1前	1								兼1
		医療英語Ⅱ	1後	1								兼1
		医療英会話Ⅰ	2前		1							兼1
		医療英会話Ⅱ	2後		1							兼1
		グローバルコミュニケーションⅠ	2後		2							兼2
		グローバルコミュニケーションⅡ	3通		2							兼2
		ドイツ語Ⅰ	1前		1							兼1
		ドイツ語Ⅱ	1後		1							兼1
		中国語Ⅰ	1前		1							兼1
		中国語Ⅱ	1後		1							兼1
		スペイン語Ⅰ	1前		1							兼1
		スペイン語Ⅱ	1後		1							兼1
		ハンブルⅠ	1前		1							兼1
		ハンブルⅡ	1後		1							兼1
		海外研修	4後		2				1			
		海外インターンシップ	4後		2				1			
小計(16科目)	-		2	18	0	0	0	1	0	0	兼8	
未 来 創 造 イ ン キ ャ リ ア 群	アントレプレナーシップ	1後	2								兼2	
	規格及び知財管理学	1後	1				1				兼1	
	機能デザイン工学	2後	1			1						
	ベンチャー起業論	3前		1		1		1			兼1	
	医療科学キャリアパス	3後		1							兼1	
	レギュラトリーサイエンス	3後	1								兼2	
	医工連携・技術開発論	3後	2			1						
小計(7科目)	-		7	2	0	2	1	1	0	0	兼6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
融合人材育成科目	先進領域融合科目群	医療情報システム論	1前	1			1					兼1
		ゲノム再生医療学	2前	2		1						兼11
		グローバルヘルス・セキュリティ	2前	2								兼1
		医療データ解析・活用論	2後		1		1					兼1
		人工知能基礎	2後		2							兼1
		医療とAI	3前		2		1					兼2
		ゲノム解析学	3前		2				2			
		クリニカルオンコロジー	3前		2		1					兼11
		ワンヘルスサイエンス	3後		2							兼3
		人工臓器学(運動器系)	3後		2		1					兼5
		人工臓器学(感覚器系)	3後		1							兼5
		人工臓器学(広領域)	3後		2		1	1				
		医学・生命科学ビッグデータAI解析技術論	3通		2							兼3
	小計(13科目)	-	7	16	0	2	2	2	0	0	兼35	
	医療マネジメント科目群	関係法規	1後	1			1		1			
		医療マネジメント論	1後	2			1					
		地域医療政策論	2前	1								兼1
		メディカルリスクマネジメント論	2後	2								兼1
		病院マネジメント論	3前		2		1		1			
小計(5科目)	-	6	2	0	2	0	1	0	0	兼2		
専門科目	コース共通専門分野	解剖学	1前	1								兼1
		解剖学実習	1後	1		1						兼1
		看護学概説	1前		1							兼2
		生命ホメオスタシス学Ⅰ	1前	1		1						兼5
		生命ホメオスタシス学Ⅱ	1後	1								兼2
		イムノメタボリズム学Ⅰ	1後	1								兼4
		イムノメタボリズム学Ⅱ	1後	1								兼1
		組織学	1後	1								兼1
		臨床病態学(内科)	2通	2			1					兼7
		臨床病態学(外科)	2前	2			2					兼9
		臨床病態学(麻酔・救急)	2前	2								兼3
		臨床病理学Ⅰ	2前	2					1			兼2
		微生物学	2後	2								兼3
	画像診断学	2後	2								兼1	
	医用工学	2後		2		1			1			
	医用機器学	2後		2		2		1				
	病態薬理学	3前	1								兼1	
	生体計測装置学	3前		2		3	1	1	1		兼3	
	臨床支援技術学	3後		2		3		1	1			
	多職種連携演習	4後		1		2	1	1			兼1	
小計(20科目)	-	20	10	0	5	1	3	1	0	兼43		
生命健康科学コース専門分野	臨床検査の基礎と疾病との関連	1前	1								兼3	
	生命ホメオスタシス学Ⅲ	2前	2		1	1					兼2	
	イムノメタボリズム学Ⅲ	2前	2		1	1						
	イムノメタボリズム学Ⅳ	2後	1								兼6	
	臨床病理学Ⅱ	2後	2					1			兼2	
	臨床検査学	2通	3		1	1						
	微生物検査学	2後	2					1			兼2	
	腫瘍血液内科学Ⅰ	2後	2								兼1	
	腫瘍血液内科学Ⅱ	3後	2								兼1	
	生命ホメオスタシス解析学Ⅰ	2後		2		2	1				兼3	
	生命ホメオスタシス解析学Ⅱ	3前		2		2	1				兼2	
	病理・細胞診断学Ⅰ	3前	2					2				
	病理・細胞診断学Ⅱ	3後		2				2				
	臨床検査総合管理学	3後	2								兼1	
	輸血・移植検査学	3後	2								兼1	
	イムノメタボリズム解析学	3通	2			1	1					
	メディカルキャリアデザイン	4通		2		1	1	1				
臨地実習	4前		12		3	1	1					
小計(18科目)	-	27	18	0	3	1	2	0	0	兼18		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門科目	プログラミング	1前	2			1						
	リハビリテーション概論	2前	1									兼1
	電気回路1	1後	2			1						
	電気回路2	2前	2			1						
	生体情報工学	1後	2									兼1
	電磁気学	2前	2									兼1
	機械工学概論	2前	2									兼1
	化学Ⅲ	2前	1					1				
	フーリエ解析	2後	2									兼1
	電子回路	2後	2									兼1
	医療材料学	2後	2			2			0			兼6
	計測工学	3前	2									兼1
	電気電子工学実験	3前	2			1						兼3
	人工臓器学(代謝系)	3前	2				1	1	1			
	人工臓器学(呼吸器系)	3前	2					1				
	人工臓器学(循環器系)	3前	2			1						
	人工臓器学(代謝系)実習	3前	1					2	1			
	人工臓器学(呼吸器系)実習	3前	1					1				
	人工臓器学(循環器系)実習	3前	1			1						
	医用機器安全管理学	3後	2					1				
	ロボット工学	3後	2									兼1
	応用数学B	3後	2									兼1
	メディカルキャリアデザイン	4通	2					2	1			
	臨地実習	4前	7					2	1			
小計(24科目)	-	29	19	0	3	1	3	1	0		兼14	
研究室配属Ⅰ	2後	2			7	3	5	1				
研究室配属Ⅱ	3通	4			7	3	5	1				
卒業研究	4通	4			7	3	5	1				
小計(3科目)		10	0	0	7	3	5	1	0			
合計(133科目)	-	119	104	0	7	3	5	1	0		兼108	
卒業要件及び履修方法												
<p>【生命健康科学コース】</p> <p>1. 基礎分野科目 23単位</p> <p>(1)必修科目 11単位</p> <p>(2)「実験系研究者のための生物学」「生命科学概論」「栄養学」5単位</p> <p>(3)「数学Ⅰ」「物理Ⅰ」「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」から2単位選択必修</p> <p>(4)「数学Ⅱ」「物理Ⅱ」「化学Ⅱ」「生物Ⅱ」から2単位選択必修</p> <p>(5)基礎分野科目選択科目から 3単位</p> <p>2. 融合人材育成科目 36単位</p> <p>(1)国際力強化科目群 必修科目 2単位</p> <p>「ドイツ語Ⅰ」「スペイン語Ⅰ」「中国語Ⅰ」「ハンガールⅠ」から1単位選択必修</p> <p>「ドイツ語Ⅱ」「スペイン語Ⅱ」「中国語Ⅱ」「ハンガールⅡ」から1単位選択必修</p> <p>(2)未来創造キャリア・デザイン科目群 必修科目 7単位</p> <p>(3)先進領域融合科目群 必修科目 7単位</p> <p>(4)医療マネジメント科目群 必修科目 6単位</p> <p>(5)融合人材育成科目の選択科目から 12単位</p> <p>3. 専門科目 51単位</p> <p>(1)コース共通専門分野 必修科目 20単位</p> <p>「医用工学」「生体計測装置学」4単位</p> <p>(2)生命健康科学コース専門分野 必修科目 27単位</p> <p>4. 融合人材育成科目及び専門科目の選択科目から 5単位</p> <p>5. 研究科目 10単位</p> <p>◆卒業要件125単位</p> <p>(履修科目の登録の上限48単位(年間))</p>												

【臨床医工学コース】

1. 基礎分野科目 20単位

- (1) 必修科目 11単位
- (2) 「数学Ⅰ」「数学Ⅱ」「物理Ⅰ」「物理Ⅱ」 4単位
- (3) 「化学Ⅰ」「生物Ⅰ」から1単位選択必修
- (4) 「化学Ⅱ」「生物Ⅱ」から1単位選択必修
- (5) 基礎分野科目選択科目から 3単位

2. 融合人材育成科目 39単位

- (1) 国際力強化科目群 必修科目 2単位
「ドイツ語Ⅰ」「中国語Ⅰ」「スペイン語Ⅰ」「ハンガールⅠ」から1単位選択必修
「ドイツ語Ⅱ」「中国語Ⅱ」「スペイン語Ⅱ」「ハンガールⅡ」から1単位選択必修
- (2) 未来創造キャリア・デザイン科目群 必修科目 7単位
- (3) 先進領域融合科目群 必修科目 7単位
「医療データ解析・活用論」「医療とAI」 3単位
- (4) 医療マネジメント科目群 必修科目 6単位
- (5) 融合人材育成科目の選択科目から 12単位

3. 専門科目 50単位

- (1) コース共通専門分野 必修科目 20単位
「看護学概説」1単位
- (2) 臨床医工学コース専門分野 必修科目 29単位

4. 融合人材育成科目及び専門科目の選択科目から 6単位

5. 研究科目 10単位

◆卒業要件125単位

(履修科目の登録の上限48単位(年間))

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は本字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・担当教員見直しの理由により、「早期体験実習」の兼任・兼任「1」の担当教員を削除。
- ・教員退職の理由により、「日本近代文学」の兼任・兼任「1」の担当教員変更。
- ・担当教員見直しの理由により、「医療英語Ⅱ」の兼任・兼任「1」の担当教員変更。
- ・担当教員見直しの理由により、「医療英会話Ⅰ」の兼任・兼任「1」の担当教員変更。
- ・教育効果向上の理由により、「グローバルコミュニケーションⅠ」の配当年次を「1後」から「2後」に変更。
- ・教員退職の理由により、「ハングルⅠ」の兼任・兼任「1」の担当教員変更。
- ・教員退職の理由により、「ハングルⅡ」の兼任・兼任「1」の担当教員変更。
- ・教員退職の理由により、「クリニカルオンコロジー」の兼任・兼任「11」のうち担当教員1名を変更。
- ・教育効果向上の理由により、「生命ホメオスタシスⅠ」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教員退職の理由により、「臨床病態学（外科）」の兼任・兼任「9」のうち担当教員1名を変更。
- ・教育効果向上の理由により、「微生物学」の配当年次を「2前」から「2後」に変更。
- ・教育内容の充実の理由により、「臨床検査の基礎と疾病との関連」の兼任・兼任を「2」から「3」に変更。
- ・教育効果向上の理由により、「リハビリテーション概論」の配当年次を「1前」から「2前」に変更。
- ・教員退職の理由により、「フーリエ解析」の兼任・兼任「1」の担当教員変更。
- ・補正申請結果への対応により、「医療材料学」の専任教員等の配置を「助教1」から「助教0」、兼任・兼任を「4」から「6」へ変更。

【令和6年度】

- ・教員退職の理由により、「データサイエンス入門」の兼任・兼任「2」のうち担当教員1名を変更。
- ・教員退職の理由により、「栄養学」の兼任・兼任「1」の担当教員変更。
- ・教員退職の理由により、「グローバルコミュニケーションⅠ」の兼任・兼任「2」から「1」に変更。
- ・教員退職の理由により、「グローバルコミュニケーションⅡ」の兼任・兼任「2」から「1」に変更。
- ・教員退職の理由により、「ハングルⅠ」の兼任・兼任「1」の担当教員変更。
- ・教員退職の理由により、「ハングルⅡ」の兼任・兼任「1」の担当教員変更。
- ・教員退職の理由により、「ゲノム再生医療学」の兼任・兼任「11」のうち担当教員1名を変更。
- ・教育効果向上の理由により、「メディカルリスクマネジメント論」の兼任・兼任「1」から「2」に変更。
- ・教員の退職及び担当教員の見直しにより、「臨床病態学（内科）」の兼任・兼任「7」から「6」に変更。
- ・教員退職の理由により、「臨床病態学（外科）」の兼任・兼任「9」のうち担当教員1名を変更。
- ・教員退職の理由により、「イムノメタボリズムⅣ」の兼任・兼任「6」のうち担当教員2名を変更。

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
73 科目	60 科目	0 科目	133 科目	73 科目 []	60 科目 []	0 科目 []	133 科目 []	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	栄養学	1	2	一般	選択	担当教員の退職による、後任の担当教員の決定を行ったが事前に周知している時間割の都合上、時間割の調整が出来なかったため、次年度に2学年同時に開講する。
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「栄養学」は担当教員の退職による、後任の担当教員の決定を行ったが事前に周知している時間割の都合上、時間割の調整が困難であったため、次年度において改めて時間割の調整を行い開講予定である。学生へは掲示及びメールにて周知した。なお、未開講としたことによる学生の履修への影響は、3年次履修科目数は2年次履修科目数より少ないため、学生への負担が増すことはないと考えている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{1}{133} = \boxed{0.75} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	福利厚生施設、運動場の 整備(5) 校舎の整備(6)		
	校舎敷地	154,917 m ² 154,761 m² 152,144 m ²	0 m ²	0 m ²	154,917 m ² 154,761 m² 152,144 m ²			
	運動場用地	99,993 m ² 72,956 m²	0 m ²	0 m ²	99,993 m ² 72,956 m²			
	小 計	254,910 m ² 254,754 m² 225,100 m ²	0 m ²	0 m ²	254,910 m ² 254,754 m² 225,100 m ²			
	そ の 他	241,802 m ² 242,255 m² 229,519 m ²	0 m ²	0 m ²	241,802 m ² 242,255 m² 229,519 m ²			
	合 計	496,712 m ² 497,009 m² 454,619 m ²	0 m ²	0 m ²	496,712 m ² 497,009 m² 454,619 m ²			
(2) 校 舎	専 用	114,180 m ² 113,227 m² 113,384 m ²	0 m ²	0 m ²	114,180 m ² 113,227 m² 113,384 m ²	改修による変更、使用区 分の変更(5) 校舎の整備(6)		
	(114,180 m ²) (113,227 m²) (113,384 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(114,180 m ²) (113,227 m²) (113,384 m ²)				
(3) 教 室 等	講 義 室	74 室 72 室 61 室	183 室 186 室 153 室	438 室 426 室 364 室	20 室 22 室 19 室 (補助職員 0人)	2 室 (補助職員 0人)	改修による変更、使用区 分の変更(5)(6)	
	演 習 室							
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称	室 数				施設整備計画に基づく改 修工事のため(5)		
	医学部先進医療科学科	10 15 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 種	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	教育研究環境の充実のため、及び購入計画の見直しによる変更(5) 計上方法の修正による学 術雑誌数の変更(6)
	大学全体	759,705 [193,725] 795,111 [202,753] 792,085 [202,774]	35,078 [27,987] 11,118 [4,051] 11,310 [4,119]	23,947 [23,947] 21,878 [21,878] 21,201 [21,201]	3,109 3,543 3,767	2,889 2,860 2,741	54 36 56	
		(769,002 [196,565]) (783,791 [199,313]) (783,297 [200,524])	(35,078 [27,987]) (11,118 [4,051]) (11,310 [4,119])	(23,947 [23,947]) (21,878 [21,878]) (21,201 [21,201])	(3,109) (3,543) (3,551)	(2,889) (2,860) (2,741)	(54) (36) (56)	
	計	759,705 [193,725] 795,111 [202,753] 792,085 [202,774]	11,131 [4,040] 11,118 [4,051] 11,310 [4,119]	23,947 [23,947] 21,878 [21,878] 21,201 [21,201]	3,109 3,543 3,767	2,889 2,860 2,741	54 36 56	
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		教育研究環境の充実のため、及び購入計画の見直しによる変更(6)		
	7,631 m ²	940		606180 605583				
(7) 体 育 館	面 積	体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	3,780 m ² 4,811 m²	弓道場、テニスコート、プール、陸上競技場等						
(8) 経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	区 分	開 設 年 度	完 成 年 度	区 分	開 設 前 年 度	開 設 年 度	完 成 年 度	
	教員1人当り研究費等	— 千円	— 千円	図書購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	共 同 研 究 費 等	— 千円	— 千円	設備購入費	— 千円	— 千円	— 千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	— 千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		—						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAO対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	大分大学						収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0		
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考
教育学部	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度			
教育学部	4	150	0	600	-	1.03	1.01	-	平成28	-		
学校教育教員養成課程	4	150	0	600	学士(教育)	1.03	1.01	-	平成28	大分県大分市大字旦野原700番地	令和5年度から入学定員変更(135→150)	
経済学部	4	270	3年次10	1100	-	1.07	-	-	昭和44	-		
総合経済学科	4	270	3年次10	1100	学士(経済学)	1.07	-	-	-	大分県大分市大字旦野原700番地		
経済学科	4	80	0	320	学士(経済学)	-	-	-	平成6	同上	令和6年度入学生より学生募集停止	
経営システム学科	4	75	0	300	学士(経済学)	-	-	-	平成6	同上	令和6年度入学生より学生募集停止	
地域システム学科	4	75	0	300	学士(経済学)	-	-	-	平成6	同上	令和6年度入学生より学生募集停止	
社会イノベーション学科	4	40	0	160	学士(経済学)	-	-	-	平成29	同上	令和6年度入学生より学生募集停止	
各学科共通	-	-	3年次10	20	-	-	-	-	-	-		
医学部	-	195	2年次10	1042	-	-	-	-	昭和51	-		
医学科	6	100	2年次10	650	学士(医学)	0.99	-	令和6	昭和51	大分県由布市挾間町医大ヶ丘1丁目1番地		
看護学科	4	60	3年次6	252	学士(看護学)	1.01	1.00	-	平成6	-		
先進医療科学科	4	35	0	140	学士(医療科学)	1.01	-	-	令和5	-		
理工学部	4	395	3年次10	1600	-	1.00	-	-	平成29	-		
理工学科	4	395	3年次10	1600	学士(理工学)	1.00	-	令和6	令和5	大分県大分市大字旦野原700番地		
創生工学科	4	-	3年次-	-	学士(工学)	-	-	-	平成29	同上	令和5年度入学生より学生募集停止	
共創理工学科	4	-	3年次-	-	学士(理工学)	-	-	-	平成29	同上	同上	
福祉健康科学部	4	100	0	400	-	1.05	1.04	-	平成28	-		
福祉健康科学科	4	100	0	400	学士(福祉健康科学)	1.05	1.04	-	平成28	大分県大分市大字旦野原700番地		
大学全体	-	1110	2年次10 3年次26	4742	-				-			

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<医学部 先進医療科学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

【令和6年度】

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科 長)	穴井 博文 <令和5年4月>
		医療科学入門 ※ 早期体験実習 健康科学概論 機能デザイン工学 医工連携・技術開発論 人工臓器学(広領域) ※ 臨床病態学(外科) ※ 医用機器学 ※ 生体計測装置学 ※ 臨床支援技術学 ※ 医療材料学 ※ 人工臓器学(循環器系) 人工臓器学(循環器系)実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究
		池内 秀隆 <令和5年4月>
専	教授	医療科学入門 ※ プログラミング 電気回路1 電気回路2 電気電子工学実験 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究
専	教授	大崎 美泉 <令和5年4月>
		医療科学入門 ※ ベンチャー起業論 ※ 医療マネジメント論 病院マネジメント論 ※ 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科 長)	穴井 博文 <令和5年4月>
		医療科学入門 ※ 早期体験実習 健康科学概論 機能デザイン工学 医工連携・技術開発論 人工臓器学(広領域) ※ 臨床病態学(外科) ※ 医用機器学 ※ 生体計測装置学 ※ 臨床支援技術学 ※ 医療材料学 ※ 人工臓器学(循環器系) 人工臓器学(循環器系)実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究
		池内 秀隆 <令和5年4月>
専	教授	医療科学入門 ※ プログラミング 電気回路1 電気回路2 電気電子工学実験 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究
専	教授	大崎 美泉 <令和5年4月>
		医療科学入門 ※ ベンチャー起業論 ※ 医療マネジメント論 病院マネジメント論 ※ 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授 (学科 長)	穴井 博文 <令和5年4月>
		医療科学入門 ※ 早期体験実習 健康科学概論 機能デザイン工学 医工連携・技術開発論 人工臓器学(広領域) ※ 臨床病態学(外科) ※ 医用機器学 ※ 生体計測装置学 ※ 臨床支援技術学 ※ 医療材料学 ※ 人工臓器学(循環器系) 人工臓器学(循環器系)実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究
		池内 秀隆 <令和5年4月>
専	教授	医療科学入門 ※ プログラミング 電気回路1 電気回路2 電気電子工学実験 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究
専	教授	大崎 美泉 <令和5年4月>
		医療科学入門 ※ ベンチャー起業論 ※ 医療マネジメント論 病院マネジメント論 ※ 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究

専	教授	加藤 優子 ＜令和5年4月＞	専	教授	加藤 優子 ＜令和5年4月＞	専	教授	加藤 優子 ＜令和5年4月＞
		医療科学入門 ※ 関係法規 ※ 多職種連携演習 イムノメタボリズム学Ⅲ 臨床検査学 生命ホメオスタシス解析学Ⅰ 生命ホメオスタシス解析学Ⅱ イムノメタボリズム解析学 メディカルキャリアデザイン 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 関係法規 ※ 多職種連携演習 イムノメタボリズム学Ⅲ 臨床検査学 生命ホメオスタシス解析学Ⅰ 生命ホメオスタシス解析学Ⅱ イムノメタボリズム解析学 メディカルキャリアデザイン 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 関係法規 ※ 多職種連携演習 イムノメタボリズム学Ⅲ 臨床検査学 生命ホメオスタシス解析学Ⅰ 生命ホメオスタシス解析学Ⅱ イムノメタボリズム解析学 メディカルキャリアデザイン 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究
専	教授	兒玉 雅明 ＜令和5年4月＞	専	教授	兒玉 雅明 ＜令和5年4月＞	専	教授	兒玉 雅明 ＜令和5年4月＞
		医療科学入門 ※ 医用工学 ※ 医用機器学 ※ 生体計測装置学 ※ 臨床支援技術学 ※ 多職種連携演習 医療材料学 ※ 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 医用工学 ※ 医用機器学 ※ 生体計測装置学 ※ 臨床支援技術学 ※ 多職種連携演習 医療材料学 ※ 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 医用工学 ※ 医用機器学 ※ 生体計測装置学 ※ 臨床支援技術学 ※ 多職種連携演習 医療材料学 ※ 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究
専	教授	田仲 和宏 ＜令和5年4月＞	専	教授	田仲 和宏 ＜令和5年4月＞	専	教授	田仲 和宏 ＜令和5年4月＞
		医療科学入門 ※ ゲノム再生医療学 ※ クリニカルオンコロジー ※ 人工臓器学(運動器系) ※ 解剖学実習 臨床病態学(外科) ※ 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ ゲノム再生医療学 ※ クリニカルオンコロジー ※ 人工臓器学(運動器系) ※ 解剖学実習 臨床病態学(外科) ※ 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ ゲノム再生医療学 ※ クリニカルオンコロジー ※ 人工臓器学(運動器系) ※ 解剖学実習 臨床病態学(外科) ※ 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究

専	教授	手嶋 泰之 ＜令和5年4月＞	専	教授	手嶋 泰之 ＜令和5年4月＞	専	教授	手嶋 泰之 ＜令和5年4月＞
		医療科学入門 ※ 生命ホメオスタシス学Ⅰ ※ 臨床病態学(内科) ※ 生体計測装置学 ※ 臨床支援技術学 ※ 生命ホメオスタシス学Ⅲ ※ 生命ホメオスタシス解析学Ⅰ 生命ホメオスタシス解析学Ⅱ 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 生命ホメオスタシス学Ⅰ ※ 臨床病態学(内科) ※ 生体計測装置学 ※ 臨床支援技術学 ※ 生命ホメオスタシス学Ⅲ ※ 生命ホメオスタシス解析学Ⅰ 生命ホメオスタシス解析学Ⅱ 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 生命ホメオスタシス学Ⅰ ※ 臨床病態学(内科) ※ 生体計測装置学 ※ 臨床支援技術学 ※ 生命ホメオスタシス学Ⅲ ※ 生命ホメオスタシス解析学Ⅰ 生命ホメオスタシス解析学Ⅱ 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究
		安德 恭彰 ＜令和5年4月＞			安德 恭彰 ＜令和5年4月＞			安德 恭彰 ＜令和5年4月＞
		医療科学入門 ※ 医療情報システム論 ※ 医療データ解析・活用論 医療とAI ※ 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 医療情報システム論 ※ 医療データ解析・活用論 医療とAI ※ 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 医療情報システム論 ※ 医療データ解析・活用論 医療とAI ※ 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究
専	准教授	友 雅司 ＜令和5年4月＞	専	准教授	友 雅司 ＜令和5年4月＞	専	准教授	友 雅司 ＜令和5年4月＞
		医療科学入門 ※ 規格及び知財管理学 ※ 人工臓器学(広領域) ※ 人工臓器学(代謝系) ※ 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 規格及び知財管理学 ※ 人工臓器学(広領域) ※ 人工臓器学(代謝系) ※ 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 規格及び知財管理学 ※ 人工臓器学(広領域) ※ 人工臓器学(代謝系) ※ 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究
		文室 知之 ＜令和5年4月＞			文室 知之 ＜令和5年4月＞			文室 知之 ＜令和5年4月＞
		医療科学入門 ※ 生体計測装置学 ※ 多職種連携演習 生命ホメオスタシス学Ⅲ ※ イムノメタボリズム学Ⅲ 臨床検査学 生命ホメオスタシス解析学Ⅰ 生命ホメオスタシス解析学Ⅱ イムノメタボリズム解析学 メディカルキャリアデザイン 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 生体計測装置学 ※ 多職種連携演習 生命ホメオスタシス学Ⅲ ※ イムノメタボリズム学Ⅲ 臨床検査学 生命ホメオスタシス解析学Ⅰ 生命ホメオスタシス解析学Ⅱ イムノメタボリズム解析学 メディカルキャリアデザイン 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 生体計測装置学 ※ 多職種連携演習 生命ホメオスタシス学Ⅲ ※ イムノメタボリズム学Ⅲ 臨床検査学 生命ホメオスタシス解析学Ⅰ 生命ホメオスタシス解析学Ⅱ イムノメタボリズム解析学 メディカルキャリアデザイン 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究

専	講師	内田 智久 ＜令和5年4月＞	専	講師	内田 智久 ＜令和5年4月＞	専	講師	内田 智久 ＜令和5年4月＞
		医療科学入門 ※ 海外研修 海外インターンシップ 臨床病理学Ⅰ ※ 臨床病理学Ⅱ ※ 病理・細胞診断学Ⅰ ※ 病理・細胞診断学Ⅱ 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 海外研修 海外インターンシップ 臨床病理学Ⅰ ※ 臨床病理学Ⅱ ※ 病理・細胞診断学Ⅰ ※ 病理・細胞診断学Ⅱ 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 海外研修 海外インターンシップ 臨床病理学Ⅰ ※ 臨床病理学Ⅱ ※ 病理・細胞診断学Ⅰ ※ 病理・細胞診断学Ⅱ 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究
専	講師	丹下 佳洋 ＜令和5年4月＞	専	講師	丹下 佳洋 ＜令和5年4月＞	専	講師	丹下 佳洋 ＜令和5年4月＞
		医療科学入門 ※ 人工臓器学(代謝系) ※ 人工臓器学(代謝系)実習 メディカルキャリアデザイン 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 人工臓器学(代謝系) ※ 人工臓器学(代謝系)実習 メディカルキャリアデザイン 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 人工臓器学(代謝系) ※ 人工臓器学(代謝系)実習 メディカルキャリアデザイン 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究
専	講師	花田 克浩 ＜令和5年4月＞	専	講師	花田 克浩 ＜令和5年4月＞	専	講師	花田 克浩 ＜令和5年4月＞
		医療科学入門 ※ 実験系研究者のための生物学 生命科学研究概論 ※ ベンチャー起業論 ※ ゲノム解析学 ※ 化学Ⅲ 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 実験系研究者のための生物学 生命科学研究概論 ※ ベンチャー起業論 ※ ゲノム解析学 ※ 化学Ⅲ 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 実験系研究者のための生物学 生命科学研究概論 ※ ベンチャー起業論 ※ ゲノム解析学 ※ 化学Ⅲ 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究
専	講師	道越 淳一 ＜令和5年4月＞	専	講師	道越 淳一 ＜令和5年4月＞	専	講師	道越 淳一 ＜令和5年4月＞
		医療科学入門 ※ 関係法規 ※ 病院マネジメント論 ※ 医用機器学 ※ 生体計測装置学 ※ 臨床支援技術学 ※ 人工臓器学(呼吸器系) 人工臓器学(代謝系)実習 人工臓器学(呼吸器系)実習 医用機器安全管理学 メディカルキャリアデザイン 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 関係法規 ※ 病院マネジメント論 ※ 医用機器学 ※ 生体計測装置学 ※ 臨床支援技術学 ※ 人工臓器学(呼吸器系) 人工臓器学(代謝系)実習 人工臓器学(呼吸器系)実習 医用機器安全管理学 メディカルキャリアデザイン 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 関係法規 ※ 病院マネジメント論 ※ 医用機器学 ※ 生体計測装置学 ※ 臨床支援技術学 ※ 人工臓器学(呼吸器系) 人工臓器学(代謝系)実習 人工臓器学(呼吸器系)実習 医用機器安全管理学 メディカルキャリアデザイン 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究

専	講師	八尋 隆明 ＜令和5年4月＞	専	講師	八尋 隆明 ＜令和5年4月＞	専	講師	八尋 隆明 ＜令和5年4月＞
		医療科学入門 ※ 生命科学研究概論 ※ ゲノム解析学 ※ 多職種連携演習 微生物検査学 病理・細胞診断学Ⅰ ※ 病理・細胞診断学Ⅱ メディカルキャリアデザイン 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 生命科学研究概論 ※ ゲノム解析学 ※ 多職種連携演習 微生物検査学 病理・細胞診断学Ⅰ ※ 病理・細胞診断学Ⅱ メディカルキャリアデザイン 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 生命科学研究概論 ※ ゲノム解析学 ※ 多職種連携演習 微生物検査学 病理・細胞診断学Ⅰ ※ 病理・細胞診断学Ⅱ メディカルキャリアデザイン 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究
専	助教	梅田 涼平 ＜令和5年4月＞	専	助教	梅田 涼平 ＜令和5年4月＞	専	助教	梅田 涼平 ＜令和5年4月＞
		医療科学入門 ※ 医用工学 ※ 生体計測装置学 ※ 臨床支援技術学 ※ 医療材料学 ※ 人工臓器学(代謝系) ※ 人工臓器学(代謝系)実習 メディカルキャリアデザイン 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 医用工学 ※ 生体計測装置学 ※ 臨床支援技術学 ※ 人工臓器学(代謝系) ※ 人工臓器学(代謝系)実習 メディカルキャリアデザイン 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究			医療科学入門 ※ 医用工学 ※ 生体計測装置学 ※ 臨床支援技術学 ※ 人工臓器学(代謝系) ※ 人工臓器学(代謝系)実習 メディカルキャリアデザイン 臨地実習 研究室配属Ⅰ 研究室配属Ⅱ 卒業研究
兼担	教授	朝井 政治 ＜令和5年4月＞	兼担	教授	朝井 政治 ＜令和5年4月＞	兼担	教授	朝井 政治 ＜令和5年4月＞
		リハビリテーション概論			リハビリテーション概論			リハビリテーション概論
兼担	教授	浅山 良樹 ＜令和5年4月＞	兼担	教授	浅山 良樹 ＜令和5年4月＞	兼担	教授	浅山 良樹 ＜令和5年4月＞
		画像診断学 医療材料学 ※ 生体計測装置学 ※			画像診断学 医療材料学 ※ 生体計測装置学 ※			画像診断学 医療材料学 ※ 生体計測装置学 ※
兼担	教授	安部 隆三 ＜令和5年4月＞	兼担	教授	安部 隆三 ＜令和5年4月＞	兼担	教授	安部 隆三 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学(麻酔・救急)			臨床病態学(麻酔・救急)			臨床病態学(麻酔・救急)
兼担	教授	石崎 敏理 ＜令和5年4月＞	兼担	教授	石崎 敏理 ＜令和5年4月＞	兼担	教授	石崎 敏理 ＜令和5年4月＞
		アントレプレナーシップ			アントレプレナーシップ			アントレプレナーシップ

兼担	教授	井上 高教 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学(感覚器系) ※
兼担	教授	井上 亮 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス学Ⅱ ※
兼担	教授	猪股 雅史 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学(外科) ※
兼担	教授	井原 健二 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ イムノメタボリズム学Ⅳ ※ 生体計測装置学 ※
兼担	教授	今井 浩光 ＜令和5年4月＞
		医療倫理学Ⅰ 医療倫理学Ⅱ レギュラトリーサイエンス
兼担	教授	上村 尚人 ＜令和5年4月＞
		ベンチャー起業論 ※ レギュラトリーサイエンス 病態薬理学
兼担	教授	緒方 正男 ＜令和5年4月＞
		クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学(内科) ※ 腫瘍血液内科学Ⅰ 腫瘍血液内科学Ⅱ 輸血・移植検査学
兼担	教授	上白木(菱岡) 悦子 ＜令和5年4月＞
		データサイエンス入門 大分大学入門
兼担	教授	菊池 武士 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学(感覚器系) ※ ロボット工学

兼担	教授	井上 高教 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学(感覚器系) ※
兼担	教授	井上 亮 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス学Ⅱ ※
兼担	教授	猪股 雅史 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学(外科) ※
兼担	教授	井原 健二 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ イムノメタボリズム学Ⅳ ※ 生体計測装置学 ※
兼担	教授	今井 浩光 ＜令和5年4月＞
		医療倫理学Ⅰ 医療倫理学Ⅱ レギュラトリーサイエンス
兼担	教授	上村 尚人 ＜令和5年4月＞
		ベンチャー起業論 ※ レギュラトリーサイエンス 病態薬理学
兼担	教授	緒方 正男 ＜令和5年4月＞
		クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学(内科) ※ 腫瘍血液内科学Ⅰ 腫瘍血液内科学Ⅱ 輸血・移植検査学
兼担	教授	上白木(菱岡) 悦子 ＜令和5年4月＞
		データサイエンス入門 大分大学入門
兼担	教授	菊池 武士 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学(感覚器系) ※ ロボット工学

兼担	教授	井上 高教 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学(感覚器系) ※
兼担	教授	井上 亮 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス学Ⅱ ※
兼担	教授	猪股 雅史 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学(外科) ※
兼担	教授	井原 健二 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ イムノメタボリズム学Ⅳ ※ 生体計測装置学 ※
兼担	教授	今井 浩光 ＜令和5年4月＞
		医療倫理学Ⅰ 医療倫理学Ⅱ レギュラトリーサイエンス
兼担	教授	上村 尚人 ＜令和5年4月＞
		ベンチャー起業論 ※ レギュラトリーサイエンス 病態薬理学
兼担	教授	緒方 正男 ＜令和5年4月＞
		クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学(内科) ※ 腫瘍血液内科学Ⅰ 腫瘍血液内科学Ⅱ 輸血・移植検査学
兼担	教授	上白木(菱岡) 悦子 ＜令和5年4月＞
		データサイエンス入門 大分大学入門
兼担	教授	菊池 武士 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学(感覚器系) ※ ロボット工学

兼担	教授	清村 紀子 ＜令和5年4月＞
		解剖学 解剖学実習 看護学概説
兼担	教授	後藤 雄治 ＜令和5年4月＞
		電気電子工学実験
兼担	教授	小林 隆志 ＜令和5年4月＞
		イムノメタボリズム学Ⅱ
兼担	教授	斉藤 功 ＜令和5年4月＞
		グローバルヘルス・セキュリティ
兼担	教授	佐藤 昇 ＜令和5年4月＞
		医学・生命科学ビッグデータAI解析技術論
兼担	教授	柴田 洋孝 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（内科） ※
兼担	教授	秦 聡孝 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学（外科） ※
兼担	教授	末延 聡一 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ クリニカルオンコロジー ※
兼担	教授	駄阿 勉 ＜令和5年4月＞
		臨床病理学Ⅱ ※
兼担	教授	高橋 尚彦 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（内科） ※ 生命ホメオスタシス解析学Ⅰ 臨床検査総合管理学

兼担	教授	清村 紀子 ＜令和5年4月＞
		解剖学 解剖学実習 看護学概説
兼担	教授	後藤 雄治 ＜令和5年4月＞
		電気電子工学実験
兼担	教授	小林 隆志 ＜令和5年4月＞
		イムノメタボリズム学Ⅱ
兼担	教授	斉藤 功 ＜令和5年4月＞
		グローバルヘルス・セキュリティ
兼担	教授	佐藤 昇 ＜令和5年4月＞
		医学・生命科学ビッグデータAI解析技術論
兼担	教授	柴田 洋孝 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（内科） ※
兼担	教授	秦 聡孝 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学（外科） ※
兼担	教授	末延 聡一 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ クリニカルオンコロジー ※
兼担	教授	駄阿 勉 ＜令和5年4月＞
		臨床病理学Ⅱ ※
兼担	教授	高橋 尚彦 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（内科） ※ 生命ホメオスタシス解析学Ⅰ 臨床検査総合管理学

兼担	教授	清村 紀子 ＜令和5年4月＞
		解剖学 解剖学実習 看護学概説
兼担	教授	後藤 雄治 ＜令和5年4月＞
		電気電子工学実験
兼担	教授	小林 隆志 ＜令和5年4月＞
		イムノメタボリズム学Ⅱ
兼担	教授	斉藤 功 ＜令和5年4月＞
		グローバルヘルス・セキュリティ
兼担	教授	佐藤 昇 ＜令和5年4月＞
		医学・生命科学ビッグデータAI解析技術論
兼担	教授	柴田 洋孝 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（内科） ※
兼担	教授	秦 聡孝 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学（外科） ※
兼担	教授	末延 聡一 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ クリニカルオンコロジー ※
兼担	教授	駄阿 勉 ＜令和5年4月＞
		臨床病理学Ⅱ ※
兼担	教授	高橋 尚彦 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（内科） ※ 生命ホメオスタシス解析学Ⅰ 臨床検査総合管理学

兼担	教授	高見 利也 ＜令和5年4月＞
		人工知能基礎
兼担	教授	谷川 雅人 ＜令和5年4月＞
		物理Ⅰ 物理Ⅱ 医療情報システム論 ※
兼担	教授	長池 一美 ＜令和5年4月＞
		グローバルコミュニケーションⅠ グローバルコミュニケーションⅡ
兼担	教授	中山 慎吾 ＜令和5年4月＞
		地域医療政策論
兼担	教授	西園 晃 ＜令和5年4月＞
		アントレプレナーシップ ワンヘルスサイエンス 微生物学 微生物検査学
兼担	教授	畑中 裕司 ＜令和5年4月＞
		医療とAI ※
兼担	教授	波多野 豊 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ 臨床病態学（外科） ※ イムノメタボリズム学Ⅳ ※ クリニカルオンコロジー ※
兼担	教授	花田 俊勝 ＜令和5年4月＞
		イムノメタボリズム学Ⅰ ※
兼担	教授	花田 礼子 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス学Ⅰ ※
兼担	教授	濱田 文彦 ＜令和5年4月＞
		組織学

兼担	教授	高見 利也 ＜令和5年4月＞
		人工知能基礎
兼担	教授	谷川 雅人 ＜令和5年4月＞
		物理Ⅰ 物理Ⅱ 医療情報システム論 ※
兼担	教授	長池 一美 ＜令和5年4月＞
		グローバルコミュニケーションⅠ グローバルコミュニケーションⅡ
兼担	教授	中山 慎吾 ＜令和5年4月＞
		地域医療政策論
兼担	教授	西園 晃 ＜令和5年4月＞
		アントレプレナーシップ ワンヘルスサイエンス 微生物学 微生物検査学
兼担	教授	畑中 裕司 ＜令和5年4月＞
		医療とAI ※
兼担	教授	波多野 豊 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ 臨床病態学（外科） ※ イムノメタボリズム学Ⅳ ※ クリニカルオンコロジー ※
兼担	教授	花田 俊勝 ＜令和5年4月＞
		イムノメタボリズム学Ⅰ ※
兼担	教授	花田 礼子 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス学Ⅰ ※
兼担	教授	濱田 文彦 ＜令和5年4月＞
		組織学

兼担	教授	高見 利也 ＜令和5年4月＞
		人工知能基礎 データサイエンス入門
兼担	教授	谷川 雅人 ＜令和5年4月＞
		物理Ⅰ 物理Ⅱ 医療情報システム論 ※
兼担	教授	長池 一美 ＜令和5年4月＞
		グローバルコミュニケーションⅠ グローバルコミュニケーションⅡ
兼担	教授	中山 慎吾 ＜令和5年4月＞
		地域医療政策論
兼担	教授	西園 晃 ＜令和5年4月＞
		アントレプレナーシップ ワンヘルスサイエンス 微生物学 微生物検査学
兼担	教授	畑中 裕司 ＜令和5年4月＞
		医療とAI ※
兼担	教授	波多野 豊 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ 臨床病態学（外科） ※ クリニカルオンコロジー ※
兼担	教授	花田 俊勝 ＜令和5年4月＞
		イムノメタボリズム学Ⅰ ※
兼担	教授	花田 礼子 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス学Ⅰ ※
兼担	教授	濱田 文彦 ＜令和5年4月＞
		組織学

兼担	教授	原田 千鶴 ＜令和5年4月＞
		看護学概説
兼担	教授	平松 和史 ＜令和5年4月＞
		メディカルリスクマネジメント論 臨床病態学（内科） ※
兼担	教授	藤井 弘也 ＜令和5年4月＞
		医療材料学 ※
兼担	教授	藤木 稔 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス解析学Ⅱ
兼担	教授	古家 賢一 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学（感覚器系） ※
兼担	教授	松浦 恵子 ＜令和5年4月＞
		医療科学キャリアパス
兼担	教授	松下 幸之助 ＜令和5年4月＞
		規格及び知財管理学 ※
兼担	教授	三室（野畑） 仁美 ＜令和5年4月＞
		ワンヘルスサイエンス 微生物学
兼担	教授	吉岩 あおい ＜令和5年4月＞
		栄養学 臨床病態学（内科） ※ 臨床検査の基礎と疾病との関連 ※
兼担	准教授	伊波 英克 ＜令和5年4月＞
		ワンヘルスサイエンス 微生物学 微生物検査学

兼担	教授	原田 千鶴 ＜令和5年4月＞
		看護学概説
兼担	教授	平松 和史 ＜令和5年4月＞
		メディカルリスクマネジメント論 臨床病態学（内科） ※
兼担	教授	藤井 弘也 ＜令和5年4月＞
		医療材料学 ※
兼担	教授	藤木 稔 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス解析学Ⅱ
兼担	教授	古家 賢一 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学（感覚器系） ※
兼担	教授	松浦 恵子 ＜令和5年4月＞
		医療科学キャリアパス
兼担	教授	松下 幸之助 ＜令和5年4月＞
		規格及び知財管理学 ※
兼担	教授	三室（野畑） 仁美 ＜令和5年4月＞
		ワンヘルスサイエンス 微生物学
兼担	教授	吉岩 あおい ＜令和5年4月＞
		栄養学 臨床病態学（内科） ※ 臨床検査の基礎と疾病との関連 ※
兼担	准教授	伊波 英克 ＜令和5年4月＞
		ワンヘルスサイエンス 微生物学 微生物検査学

兼担	教授	原田 千鶴 ＜令和5年4月＞
		看護学概説
兼担	教授	平松 和史 ＜令和5年4月＞
		メディカルリスクマネジメント論※ 臨床病態学（内科） ※
兼担	教授	藤井 弘也 ＜令和5年4月＞
		医療材料学 ※
兼担	教授	藤木 稔 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス解析学Ⅱ
兼担	教授	古家 賢一 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学（感覚器系） ※
兼担	教授	松浦 恵子 ＜令和5年4月＞
		医療科学キャリアパス
兼担	教授	松下 幸之助 ＜令和5年4月＞
		規格及び知財管理学 ※
兼担	教授	三室（野畑） 仁美 ＜令和5年4月＞
		ワンヘルスサイエンス 微生物学
兼担	教授	吉岩 あおい ＜令和5年4月＞
		栄養学 臨床病態学（内科） ※ 臨床検査の基礎と疾病との関連 ※
兼担	准教授	伊波 英克 ＜令和5年4月＞
		ワンヘルスサイエンス 微生物学 微生物検査学

兼担	准教授	上見 憲弘 ＜令和5年4月＞
		生体情報工学 電子回路 計測工学 電気電子工学実験
兼担	准教授	衛藤 剛 ＜令和5年4月＞
		医療とAI ※ 医学・生命科学ビッグデータAI解析技術論
兼担	准教授	大下 晴美 ＜令和5年4月＞
		医療英語 I 医療英語 II
兼担	准教授	沖本 忠義 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（内科） ※ イムノメタボリズム学IV ※
兼担	准教授	小副川 敦 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学（外科） ※
兼担	准教授	小畑 経史 ＜令和5年4月＞
		データサイエンス入門 応用数学B
兼担	准教授	高 炎輝 ＜令和5年4月＞
		電磁気学 電気電子工学実験
兼担	准教授	加来 信広 ＜令和5年4月＞
		医療材料学 ※ 人工臓器学（運動器系） ※
兼担	准教授	加隈 哲也 ＜令和5年4月＞
		臨床検査の基礎と疾病との関連 ※
兼担	准教授	河野 康志 ＜令和5年4月＞
		クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学（外科） ※

兼担	准教授	上見 憲弘 ＜令和5年4月＞
		生体情報工学 電子回路 計測工学 電気電子工学実験
兼担	准教授	衛藤 剛 ＜令和5年4月＞
		医療とAI ※ 医学・生命科学ビッグデータAI解析技術論
兼担	准教授	大下 晴美 ＜令和5年4月＞
		医療英語 I 医療英会話 I
兼担	准教授	小副川 敦 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学（外科） ※
兼担	准教授	小畑 経史 ＜令和5年4月＞
		データサイエンス入門 応用数学B
兼担	准教授	高 炎輝 ＜令和5年4月＞
		電磁気学 電気電子工学実験
兼担	教授	加来 信広 ＜令和5年4月＞
		医療材料学 ※ 人工臓器学（運動器系） ※
兼担	教授	加隈 哲也 ＜令和5年4月＞
		臨床検査の基礎と疾病との関連 ※
兼担	准教授	河野 康志 ＜令和5年4月＞
		クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学（外科） ※

兼担	准教授	上見 憲弘 ＜令和5年4月＞
		生体情報工学 電子回路 計測工学 電気電子工学実験
兼担	教授	衛藤 剛 ＜令和5年4月＞
		医療とAI ※ 医学・生命科学ビッグデータAI解析技術論
兼担	准教授	大下 晴美 ＜令和5年4月＞
		医療英語 I 医療英会話 I
兼担	准教授	小副川 敦 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学（外科） ※
兼担	准教授	小畑 経史 ＜令和5年4月＞
		データサイエンス入門 応用数学B
兼担	准教授	高 炎輝 ＜令和5年4月＞
		電磁気学 電気電子工学実験
兼担	教授	加来 信広 ＜令和5年4月＞
		医療材料学 ※ 人工臓器学（運動器系） ※
兼担	教授	加隈 哲也 ＜令和5年4月＞
		臨床検査の基礎と疾病との関連 ※
兼担	教授	河野 康志 ＜令和5年4月＞
		クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学（外科） ※

兼担	准教授	木許 賢一 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（外科） ※
兼担	准教授	黒川 竜紀 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス学Ⅰ ※
兼担	准教授	小宮 幸作 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（内科） ※ 生命ホメオスタシス学Ⅲ ※ イムノメタボリズム学Ⅳ ※ 生命ホメオスタシス解析学Ⅰ
兼担	准教授	下田 恵 ＜令和5年4月＞
		化学Ⅱ
兼担	准教授	白石 裕士 ＜令和5年4月＞
		イムノメタボリズム学Ⅰ ※
兼担	准教授	新宮 千尋 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（麻酔・救急）
兼担	准教授	西田 陽登 ＜令和5年4月＞
		臨床病理学Ⅱ ※
兼担	准教授	泥谷 直樹 ＜令和5年4月＞
		臨床病理学Ⅰ ※
兼担	准教授	ブルカート香織 ＜令和5年4月＞
		グローバルコミュニケーションⅠ グローバルコミュニケーションⅡ
兼担	准教授	松尾 哲孝 ＜令和5年4月＞
		イムノメタボリズム学Ⅰ ※

兼担	准教授	木許 賢一 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（外科） ※
兼担	准教授	黒川 竜紀 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス学Ⅰ ※ 医療材料学 ※
兼担	准教授	小宮 幸作 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（内科） ※ 生命ホメオスタシス学Ⅲ ※ イムノメタボリズム学Ⅳ ※ 生命ホメオスタシス解析学Ⅰ
兼担	准教授	下田 恵 ＜令和5年4月＞
		化学Ⅱ
兼担	准教授	白石 裕士 ＜令和5年4月＞
		イムノメタボリズム学Ⅰ ※
兼担	准教授	新宮 千尋 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（麻酔・救急）
兼担	准教授	西田 陽登 ＜令和5年4月＞
		臨床病理学Ⅱ ※
兼担	准教授	泥谷 直樹 ＜令和5年4月＞
		臨床病理学Ⅰ ※
兼担	准教授	ブルカート香織 (49)
		グローバルコミュニケーションⅠ グローバルコミュニケーションⅡ
兼担	准教授	松尾 哲孝 ＜令和5年4月＞
		イムノメタボリズム学Ⅰ ※

兼担	准教授	黒川 竜紀 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス学Ⅰ ※ 医療材料学 ※
兼担	教授	小宮 幸作 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（内科） ※ 生命ホメオスタシス学Ⅲ ※ イムノメタボリズム学Ⅳ ※ 生命ホメオスタシス解析学Ⅰ
兼担	准教授	下田 恵 ＜令和5年4月＞
		化学Ⅱ
兼担	准教授	白石 裕士 ＜令和5年4月＞
		イムノメタボリズム学Ⅰ ※
兼担	准教授	新宮 千尋 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（麻酔・救急）
兼担	准教授	西田 陽登 ＜令和5年4月＞
		臨床病理学Ⅱ ※
兼担	准教授	泥谷 直樹 ＜令和5年4月＞
		臨床病理学Ⅰ ※
兼担	准教授	松尾 哲孝 ＜令和5年4月＞
		イムノメタボリズム学Ⅰ ※

兼担	准教授	松本 重清 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（麻酔・救急） 生体計測装置学 ※
兼担	准教授	山本 恭子 ＜令和5年4月＞
		早期体験実習 健康科学概論 多職種連携演習
兼担	准教授	幸松 美智子 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス学Ⅱ ※
兼担	准教授	渡邊 哲生 ＜令和5年4月＞
		クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学（外科） ※ イムノメタボリズム学Ⅳ ※
兼担	講師	池田 八果穂 ＜令和5年4月＞
		生物Ⅰ 生物Ⅱ
兼担	講師	大津 智 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ クリニカルオンコロジー ※
兼担	講師	清水 史明 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（外科） ※
兼担	講師	Sean Michael Chidlow ＜令和5年4月＞
		医療英会話Ⅰ 医療英会話Ⅱ
兼担	講師	宮崎 正志 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学（運動器系） ※
兼担	助教	岩城 貴史 ＜令和5年4月＞
		数学Ⅰ 数学Ⅱ

兼担	准教授	松本 重清 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（麻酔・救急） 生体計測装置学 ※
兼担	准教授	山本 恭子 ＜令和5年4月＞
		健康科学概論 多職種連携演習
兼担	准教授	幸松 美智子 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス学Ⅱ ※
兼担	准教授	渡邊 哲生 ＜令和5年4月＞
		クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学（外科） ※ イムノメタボリズム学Ⅳ ※
兼担	講師	池田 八果穂 ＜令和5年4月＞
		生物Ⅰ 生物Ⅱ
兼担	講師	大津 智 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ クリニカルオンコロジー ※
兼担	講師	清水 史明 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（外科） ※
兼担	講師	Sean Michael Chidlow ＜令和5年4月＞
		医療英会話Ⅱ 医療英語Ⅱ
兼担	講師	宮崎 正志 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学（運動器系） ※
兼担	助教	岩城 貴史 ＜令和5年4月＞
		数学Ⅰ 数学Ⅱ

兼担	准教授	松本 重清 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（麻酔・救急） 生体計測装置学 ※
兼担	准教授	山本 恭子 ＜令和5年4月＞
		健康科学概論 多職種連携演習
兼担	准教授	幸松 美智子 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス学Ⅱ ※
兼担	准教授	渡邊 哲生 ＜令和5年4月＞
		クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学（外科） ※ イムノメタボリズム学Ⅳ ※
兼担	講師	池田 八果穂 ＜令和5年4月＞
		生物Ⅰ 生物Ⅱ
兼担	講師	大津 智 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ クリニカルオンコロジー ※
兼担	講師	清水 史明 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（外科） ※
兼担	講師	Sean Michael Chidlow ＜令和5年4月＞
		医療英会話Ⅱ 医療英語Ⅱ
兼担	准教授	宮崎 正志 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学（運動器系） ※
兼担	助教	岩城 貴史 ＜令和5年4月＞
		数学Ⅰ 数学Ⅱ

兼担	助教	尾崎 貴士 ＜令和5年4月＞
		イムノメタボリズム学Ⅳ ※
兼担	助教	賀川 経夫 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学(感覚器系) ※
兼担	助教	加藤 義隆 ＜令和5年4月＞
		機械工学概論
兼担	助教	門脇 嘉宣 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学(感覚器系) ※
兼担	助教	金崎 彰三 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学(運動器系) ※
兼担	助教	河島 毅之 ＜令和5年4月＞
		医療材料学 ※
兼担	助教	河野 正典 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ 人工臓器学(運動器系) ※
兼担	助教	久保 毅 ＜令和5年4月＞
		クリニカルオンコロジー ※ 臨床病態学(外科) ※
兼担	助教	桑 慎一郎 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス学Ⅰ ※
兼担	助教	鹿野 健史朗 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス学Ⅰ ※
兼担	助教	清水 誠之 ＜令和5年4月＞
		イムノメタボリズム学Ⅰ ※

兼担	助教	尾崎 貴士 ＜令和5年4月＞
		イムノメタボリズム学Ⅳ ※
兼担	助教	賀川 経夫 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学(感覚器系) ※
兼担	助教	加藤 義隆 ＜令和5年4月＞
		機械工学概論
兼担	助教	門脇 嘉宣 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学(感覚器系) ※
兼担	助教	金崎 彰三 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学(運動器系) ※
兼担	助教	河島 毅之 ＜令和5年4月＞
		医療材料学 ※
兼担	助教	河野 正典 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ 人工臓器学(運動器系) ※
兼担	助教	
兼担	助教	桑 慎一郎 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス学Ⅰ ※
兼担	助教	鹿野 健史朗 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス学Ⅰ ※
兼担	助教	清水 誠之 ＜令和5年4月＞
		イムノメタボリズム学Ⅰ ※

兼担	助教	尾崎 貴士 ＜令和5年4月＞
		イムノメタボリズム学Ⅳ ※
兼担	助教	賀川 経夫 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学(感覚器系) ※
兼担	助教	加藤 義隆 ＜令和5年4月＞
		機械工学概論
兼担	助教	門脇 嘉宣 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学(感覚器系) ※
兼担	助教	金崎 彰三 ＜令和5年4月＞
		人工臓器学(運動器系) ※
兼担	助教	河島 毅之 ＜令和5年4月＞
		医療材料学 ※
兼担	講師	河野 正典 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※ 人工臓器学(運動器系) ※
兼担	助教	
兼担	助教	桑 慎一郎 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス学Ⅰ ※
兼担	助教	鹿野 健史朗 ＜令和5年4月＞
		生命ホメオスタシス学Ⅰ ※
兼担	助教	清水 誠之 ＜令和5年4月＞
		イムノメタボリズム学Ⅰ ※

兼任	講師	浅野 則子 ＜令和5年4月＞ 日本の古典文学を学ぶ
兼任	講師	岩本 貴光 ＜令和5年4月＞ 健康運動科学Ⅰ 健康運動科学Ⅱ
兼任	講師	上野 徳美 ＜令和5年4月＞ 心理行動科学 コミュニケーション学
兼任	講師	小川 伊作 ＜令和5年4月＞ 音楽
兼任	講師	織田 信弥 ＜令和5年4月＞ ゲノム再生医療学 ※
兼任	講師	久保田直治 ＜令和5年4月＞ 化学Ⅰ
兼任	講師	佐藤 孝裕 ＜令和5年4月＞ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	講師	枝園 忠彦 ＜令和5年4月＞ クリニカルオンコロジー ※

兼任	講師	浅野 則子 ＜令和5年4月＞ 日本の古典文学を学ぶ
兼任	講師	岩本 貴光 ＜令和5年4月＞ 健康運動科学Ⅰ 健康運動科学Ⅱ
兼任	講師	上野 徳美 ＜令和5年4月＞ 心理行動科学 コミュニケーション学
兼任	講師	小川 伊作 ＜令和5年4月＞ 音楽
兼任	講師	織田 信弥 ＜令和5年4月＞ ゲノム再生医療学 ※
兼任	講師	久保田直治 ＜令和5年4月＞ 化学Ⅰ
兼任	講師	佐藤 孝裕 ＜令和5年4月＞ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	講師	枝園 忠彦 ＜令和5年4月＞ クリニカルオンコロジー ※

兼任	助教	八塚 洋之 ＜令和6年4月＞ 臨床病態学（外科） ※
兼任	講師	酒井 貴史 ＜令和6年4月＞ イムノメタボリズム学Ⅳ ※
兼任	助教	小坂 聡太郎 ＜令和6年4月＞ イムノメタボリズム学Ⅳ ※
兼任	講師	浅野 則子 ＜令和5年4月＞ 日本の古典文学を学ぶ
兼任	講師	岩本 貴光 ＜令和5年4月＞ 健康運動科学Ⅰ 健康運動科学Ⅱ
兼任	講師	上野 徳美 ＜令和5年4月＞ 心理行動科学 コミュニケーション学
兼任	講師	小川 伊作 ＜令和5年4月＞ 音楽
兼任	講師	織田 信弥 ＜令和5年4月＞ ゲノム再生医療学 ※
兼任	講師	久保田直治 ＜令和5年4月＞ 化学Ⅰ
兼任	講師	佐藤 孝裕 ＜令和5年4月＞ スペイン語Ⅰ スペイン語Ⅱ
兼任	講師	枝園 忠彦 ＜令和5年4月＞ クリニカルオンコロジー ※

兼任	講師	鈴木 晶 ＜令和5年4月＞
		中国語 I 中国語 II
兼任	講師	関根 剛 ＜令和5年4月＞
		自己理解のための心理臨床学入門
兼任	講師	全 紅女 ＜令和5年4月＞
		ハングル I ハングル II
兼任	講師	長福 香菜 ＜令和5年4月＞
		日本近代文学
兼任	講師	妻木 範行 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※
兼任	講師	中山 功一 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※
兼任	講師	野村 文宏 ＜令和5年4月＞
		ドイツ文学 ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	馬場 清 ＜令和5年4月＞
		フーリエ解析
兼任	講師	松岡 茂 ＜令和5年4月＞
		医学・生命科学ビッグデータAI解析技術論

兼任	講師	鈴木 晶 ＜令和5年4月＞
		中国語 I 中国語 II
兼任	講師	関根 剛 ＜令和5年4月＞
		自己理解のための心理臨床学入門
兼任	講師	妻木 範行 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※
兼任	講師	中山 功一 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※
兼任	講師	野村 文宏 ＜令和5年4月＞
		ドイツ文学 ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	松岡 茂 ＜令和5年4月＞
		医学・生命科学ビッグデータAI解析技術論
兼任	講師	沖本 忠義 ＜令和5年4月＞
		臨床病態学（内科） ※ イムノメタボリズム学IV ※

兼任	講師	鈴木 晶 ＜令和5年4月＞
		中国語 I 中国語 II
兼任	講師	関根 剛 ＜令和5年4月＞
		自己理解のための心理臨床学入門
兼任	講師	全 紅女 ＜令和5年4月＞
		ハングル I ハングル II
兼任	講師	妻木 範行 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※
兼任	講師	中山 功一 ＜令和5年4月＞
		ゲノム再生医療学 ※
兼任	講師	野村 文宏 ＜令和5年4月＞
		ドイツ文学 ドイツ語 I ドイツ語 II
兼任	講師	松岡 茂 ＜令和5年4月＞
		医学・生命科学ビッグデータAI解析技術論

			兼任	講師	巖 ジェノバ ＜令和5年4月＞			
					ハンゲルⅠ ハンゲルⅡ			
			兼任	講師	淵上 千香子 ＜令和5年4月＞	兼任	講師	淵上 千香子 ＜令和5年4月＞
					日本近代文学			日本近代文学
			兼任	講師	豊坂 祐樹 ＜令和5年4月＞	兼任	講師	豊坂 祐樹 ＜令和5年4月＞
					フーリエ解析			フーリエ解析
						兼任	講師	小畑 経史 ＜令和6年4月＞
								応用数学B
						兼任	講師	吉岩 あおい ＜令和6年4月＞
								臨床検査の基礎と疾病との関連 ※
						兼任	講師	末延 聡一 ＜令和6年4月＞
								クリニカルオンコロジー ※

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼担、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

【専任教員に係る変更事項】

- ・梅田涼平 助教 「医療材料学」の担当科目削除

【兼担、兼任教員に係る変更事項】

・兼担教員の担当科目の変更

- ・大下晴美 准教授 「医療英語Ⅱ」の担当科目削除 (Sean Michael Chidlowへ)
「医療英会話Ⅰ」の担当科目追加
- ・黒川竜紀 准教授 「医療材料学」の担当科目追加
- ・山本恭子 准教授 「早期体験実習」の担当科目削除
- ・Sean Michael Chidlow 講師 「医療英会話Ⅰ」の担当科目削除 (大下晴美へ)
「医療英語Ⅱ」の担当科目追加

・兼担教員の追加

- ・高野正幸 准教授 「臨床検査の基礎と疾病との関連」の担当科目を担当
- ・篠原徹二 講師 「医療材料学」の担当科目を担当
- ・札幌博貴 助教 「クリニカルオンコロジー」「臨床病態学(外科)」の担当科目を担当

・兼担教員の退職

- ・沖本忠義 退職 「臨床病態学(内科)」「イムノメタボリズム学Ⅳ」を削除
- ・久保毅 退職 「クリニカルオンコロジー」「臨床病態学(外科)」を削除

・兼担教員の職位の変更

- ・加来信広 准教授 から 教授 へ変更
- ・加隈哲也 准教授 から 教授 へ変更

・兼任教員の追加

- ・沖本忠義 兼任 「臨床病態学(内科)」「イムノメタボリズム学Ⅳ」を担当
- ・敵ジェノバ 兼任 「ハングルⅠ」「ハングルⅡ」を担当
- ・洲上千香子 兼任 「日本近代文学」を担当
- ・豊坂祐樹 兼任 「フーリエ解析」を担当

・兼任教員の退職

- ・全紅女 兼任 「ハングルⅠ」「ハングルⅡ」を削除
- ・長福香菜 兼任 「日本近代文学」を削除
- ・馬場清 兼任 「フーリエ解析」を削除

【令和6年度】

【専任教員に係る変更事項】

該当無し

【兼担、兼任教員に係る変更事項】

・兼担教員の担当科目の変更

- ・波多野豊 教授 「イムノメタボリズム学Ⅳ」の担当科目削除
- ・高見利也 教授 「データサイエンス入門」の担当科目追加
- ・平松和史 教授 「メディカルリスクマネジメント論」をオムニバスへ変更

・兼担教員の追加

- ・正木孝幸 教授 「栄養学」「臨床病態学(内科)」の担当科目追加
- ・後藤洋徳 助教 「ゲノム再生医療学」の担当科目追加
- ・佐藤祐貴子 講師 「メディカルリスクマネジメント論」の担当科目追加
- ・八塚洋之 助教 「臨床病態学(外科)」の担当科目追加
- ・酒井貴史 講師 「イムノメタボリズム学Ⅳ」の担当科目追加
- ・小坂聡太郎 助教 「イムノメタボリズム学Ⅳ」の担当科目追加

・兼担教員の退職

- ・末延聡一 退職 「ゲノム再生医療学」「クリニカルオンコロジー」を削除
- ・吉岩あおい 退職 「栄養学」「臨床病態学(内科)」「臨床検査の基礎と疾病との関連」を削除
- ・小畑経史 退職 「データサイエンス入門」「応用数学B」を削除
- ・木許 賢一 退職 「臨床病態学(外科)」を削除
- ・ブルカート香織 退職 「グローバルコミュニケーションⅠ」「グローバルコミュニケーションⅡ」を削除

・兼担教員の職位の変更

- ・衛藤剛 准教授 から 教授 へ変更
- ・河野康志 准教授 から 教授 へ変更
- ・小宮幸作 准教授 から 教授 へ変更
- ・宮崎正志 講師 から 准教授 へ変更
- ・河野正典 助教 から 講師 へ変更

・兼担教員の学位の変更

- ・高野正幸 准教授 修士(医科学) から 博士(医学) へ変更

・兼任教員の追加

- ・全紅女 兼任 「ハングルⅠ」「ハングルⅡ」を担当
- ・小畑経史 兼任 「応用数学B」を担当
- ・吉岩あおい 兼任 「臨床検査の基礎と疾病との関連」を担当
- ・末延聡一 兼任 「クリニカルオンコロジー」を担当

(注) 変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A/C教員審査)を受けてください。

A/C教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。

- ・ A/C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注) ・ 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づく「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2)-② 専任教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数
	6
12	
名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一イ、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項により算出される専任教員数を記入してください。
 ・ 高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
7	3	5	1	16	0	7	3	5	1	16	0
(7)	(3)	(5)	(1)	(16)							
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
7	3	5	1	16	0	7	3	5	1	16	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(C)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	1	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合は、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{16} = \boxed{100} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{1}{16} = \boxed{6.25} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{-} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
		該当なし								
合計 (D)						後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、**赤字**にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計 (F)						後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計}(D) + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画}(A)} = \frac{0}{16} = 0 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
 ・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

<ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時 (令和5年)	専任教員資格審査の結果により、教員の補充が必要とされた授業科目については、確実に教員を充足させること。	【意見伺い】遵守事項 兼任補充可となった「医療材料学」シラバスの授業の内容 11：生体の電気特性（細胞の電気特性）、12：生体の電気特性を応用した医工学技術について、研究と教育の業績を有する兼任教員を補充した。（5）（6）	履行済
認可時 (令和5年)	二以上の校地において教育を行うことから、学生及び教員の教育研究内容等に支障のないよう留意すること。また、学生の課外活動等にも配慮すること。	【意見伺い】遵守事項 挟間と旦野原のキャンパス間移動はシャトルバスを運行する。また、課外活動等は挟間にある既存の部活等に入室可能であり、旦野原での授業は午前中に集中させているため、挟間帰着後の午後に課外活動等を行うことが十分可能となっている。（5）（6）	履行済

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（4）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（5）」と記載してください。

【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「（4）（5）」と記載してください。

【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（5）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<医学部 先進医療科学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
①施設・設備 本学科の設置に伴い、医学科が使用している基礎実習棟3階を改修し、先進医療科学科の講義室、実習室、学生用ロッカー等の施設を整備する。	①施設・整備 令和5年度中に完了予定であった基礎実習棟3階の工期が延長し、令和6年度6月末に完了予定である。これに伴い、令和6年度の講義は看護学科棟講義室を使用し、実習は医学科の実習室を借りて行い、学生の履修への影響はない。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

① 実施体制 a 委員会の設置状況 医学部先進医療科学科会議(令和5年度から) b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む) 医学部先進医療科学科教授、准教授、講師及び助教 計16名で構成。 令和5年度は11回開催。 c 委員会の審議事項等 先進医療科学科学生の教育課程及び厚生補導に関すること。 ② 実施状況 a 実施内容 ・ 一般選抜入学者選抜方法について ・ 早期体験実習について ・ 令和5年度前学期の修得単位状況について 等 b 実施方法 ・ 令和5年度前学期の単位修得状況を踏まえ、先進医療科学科の学生への履修指導を行うため、専任教員を集め、履修方法と卒業要件、資格との関係について説明し、改めて教員相互で確認した。 c 開催状況(教員の参加状況含む) ・ 令和5年度前期の成績について(令和5年9月13日(水))参加者:10名 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・ 現時点では特記事項なし ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 実施 有(各授業の終了時に実施) b 教員や学生への公開状況、方法等 教員へは授業科目ごとの集計結果を通知している。学生へは集計結果を掲示にて周知している。
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

令和6年度には定員70名に対し、在学生71名であり、1科目を除き予定どおり授業科目を開講している。
なお、建物改修計画に数ヶ月の遅れを生じているが、代替施設の準備等を含め履修に影響が無いよう対応しており、計画どおり進んでいると考える。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
・令和6年8月頃に公表予定

b 公表方法
・大学ホームページ上に公開予定

③ 認証評価を受ける計画
(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

・令和3年度に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）による認証評価を受審した。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 其他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。